

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成19年8月23日(2007.8.23)

【公開番号】特開2006-277557(P2006-277557A)

【公開日】平成18年10月12日(2006.10.12)

【年通号数】公開・登録公報2006-040

【出願番号】特願2005-98512(P2005-98512)

【国際特許分類】

G 0 6 F 17/50 (2006.01)

H 0 1 L 21/82 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 17/50 6 6 8 X

G 0 6 F 17/50 6 5 8 K

G 0 6 F 17/50 6 6 6 V

G 0 6 F 17/50 6 6 6 Z

G 0 6 F 17/50 6 6 8 S

H 0 1 L 21/82 C

【手続補正書】

【提出日】平成19年7月10日(2007.7.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

また、請求項10の発明は、

請求項8のクロックジッタ算出装置であって、

上記遅延時間変動算出手段は、上記第1および第2の供給電圧にそれぞれ対応する遅延時間の差を上記遅延時間の変動として求めるように構成されていることを特徴とする。